

生活交通の維持・確保に関する方策について

千葉県バス対策地域協議会君津分科会

乗合バス事業については、平成14年2月の改正道路運送法の施行に伴い、需給調整規制は廃止され、事業への参入・退出等の規制が緩和されました。

これにより、交通需要の少ない地方部における乗合バス路線については、不採算路線からの退出の加速が懸念され、地域住民の皆様にとって真に必要な生活交通の確保に支障を来すことが危惧されています。

このため千葉県では、「千葉県バス対策地域協議会」を設け、さらに各地域に「分科会」を設けて地域のニーズに応じた具体的な生活交通確保のための方策を協議することとしています。

このたび君津分科会では、乗合バスを運行するバス事業者から今後の運行について協議の申出のあった路線について、別添のとおり協議しましたので、その結果を公表します。

令和3年6月18日

別記第7号様式

千葉県バス対策地域協議会第1回分科会協議結果総括表

分科会名：君津分科会

協議年月日：令和3年5月17日

協議路線				関係 市町村	分科会における協議結果	備考
事業者名	路線名	起点・終点 (経由地)	協議申出内容 (実施予定年月日)			
日東交通(株)	三島線	木更津駅西口・中島 (八重原)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 君津市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(木更津市、君津市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	
日東交通(株)	姉ヶ崎線	姉ヶ崎駅・茅野 (平岡小前)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 袖ヶ浦市 市原市	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	
日東交通(株)	姉ヶ崎線	姉ヶ崎駅・茅野 (桜台団地)	国補助を受けて 運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 袖ヶ浦市 市原市	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	
日東交通(株)	君津市内循環 線	八重原 A3 棟前・君 津駅北口(君津製鐵 所・君津健康センタ ー)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 君津市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(木更津市、君津市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	
日東交通(株)	畑沢線	木更津駅西口・ 君津駅南口 (東畑沢・陽光台)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 君津市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(木更津市、君津市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	
日東交通(株)	高倉アカデミア 線	木更津駅東口・ かずさ小糸南 (かずさアーク)	国県補助を受けて 運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 君津市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(木更津市、君津市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	

日東交通(株)	富津線	木更津駅西口・富津公園 (青堀駅)	国県補助を受けて運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 君津市 富津市	生活路線として必要であり、申出どおり国及び県の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	
日東交通(株)	木更津鴨川線	亀田病院・イオンモール木更津 (木更津駅西口)	国県補助を受けて運行を維持する。 (令和3年10月1日)	木更津市 君津市 鴨川市	生活路線として必要であり、申出どおり国、県及び関係市(木更津市、君津市、鴨川市)の補助を受けて運行を維持する。 (補助対象期間:令和3年10月1日～令和4年9月30日)	

地域間幹線系統確保維持計画（原案）に対する意見募集の結果について

君津分科会に係る「地域間幹線系統確保維持計画」の決定に当たり、令和3年5月19日から同年6月1日まで計画原案に対する意見を募集したところ、協議対象路線5路線（三島線、君津市内循環線、畑沢線、高倉アカデミア線、富津線、いずれも日東交通(株)が運行）について提出された意見及び検討結果の概要は次のとおりです。

1 意見の提出件数 6件

結果の公表にあたり、協議対象路線の地域間幹線系統確保維持計画（原案）に関連する意見を抽出させていただきました。なお、その他の意見につきましては関係者間で共有し、今後の事務の参考とさせていただきます。

2 意見の概要と検討結果 以下のとおり

意見の概要	検討結果
<p>(高倉アカデミア線：日東交通（株）) (再編前のかずさアカデミア線について、) 上りの始発が、南清小前8時31分発一木更津駅着8時41分でありこれでは通勤通学に使用できない。7時30分頃増便できないか。</p>	<p>ご意見をいただきました、かずさアカデミアパーク線については、木更津市地域公共交通再編実施計画に基づき、令和3年10月1日から再編（高倉線との統合）を予定しており、再編後の高倉アカデミア線は停留所「南清小学校」を経由しないこととなります。</p> <p>なお、同バス停周辺で10月1日以降もご利用可能な路線としては、500mほど離れた停留所「伊豆島」から、木更津駅へ向かう7時20分発のバス（木更津鴨川線）が出ておりますので、ご参考までにお知らせいたします。</p> <p>そのため、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画については原案のとおりとさせていただきます。</p>

<p>(三島線：日東交通（株））</p> <p>木更津市内から君津特別支援学校へ行く際、公共交通機関（バス・三島線）を使おうとした。</p> <p>接続の良い便があれば君津中央病院で乗り継ぎを行い、40分ほどで到着できるルートだったので、往復のバス利用を検討したが、本数が少なく、乗り継ぎ時間等も長いことから、結局、行きは徒歩、帰りはタクシーを利用した。</p> <p>年に1回程度の用事だが、もう少し便を増やしてくれば安い移動手段で移動できたのと思う。</p>	<p>日東交通(株)に確認したところ、運行ダイヤは、収支改善を念頭に、利用実態や地域ニーズを加味して決定していることから、便数を増やすことによる経費の増加以上の増収を見込むことが出来ず、増便対応は難しいとの回答がありました。</p> <p>そのため、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画については原案のとおりとさせていただきます。</p> <p>なお、君津中央病院での乗り継ぎの改善のご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>(君津市内循環線：日東交通（株））</p> <p>全便中型車の運行に切り替え、君津台に乗り入れ、西坂田～君津駅はイオン富津線と同一経路とし、玄々堂君津病院へのアクセス向上をはかり、君津市役所～山王下間は、コミュニティバスも運行していて、重複しており、運賃体系も違う事から廃止。</p> <p>南子安地区(山九社宅)への新規乗り入れ。畑沢地区でのバス停増設。また、平日・土休日ダイヤを設定し、経費の削減(減便・特に土休日の朝と夜)を徹底すべきである。</p> <p>バス停の数を増やし、乗車機会を増やし、沿線にある、君津高校の生徒に少しでも乗ってもらえるように、『沿線学生は現金100円』といった取り組みもするべきである。</p>	<p>日東交通(株)に確認したところ、君津台への乗り入れについては、現在運行しているイオンモール富津線の利用状況に鑑み、ご提案いただいたルート変更による乗り入れに係る経費の増加以上の増収を見込めない状況であり、また、コミュニティバスとの重複部分の廃止については、周辺の南子安停留所も含めて乗降される方が多いため、十分に調査や協議を行い慎重に検討していきたいと回答がありました。</p> <p>また、路線バスの利用促進については、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画（原案）に記載のとおり、関係市及び事業者が連携し、公共交通に関する意識の醸成を図ってまいります。</p> <p>そのため、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。</p>

<p>(富津線：日東交通（株）)</p> <p>沿線には大きなショッピングモールが2つもあり、立ち寄らないのは勿体ない。以前の回答で『利用者が少なく廃止した経緯があり』とあったが、買い物アクセスに限定して、便を限定しても、利便性は向上する。また、採算の問題もあるが、路線バスは交通弱者の足として機能しているのもあって、利用者がいることが実績としてあるのだから、イオン富津への乗り入れを復活させ、更にイオンモール木更津への乗り入れし、亀田病院行きに接続させる事により、買い物・通院需要に応えるべきである。</p>	<p>各イオンモールへのアクセスに関するご意見については、現在、青堀駅、君津駅、木更津駅等からアクセス可能な別の路線がございます。</p> <p>また、仮に両イオンモールに接続した場合、延伸による所要時間、運賃の増加が見込まれ、既存利用者の利便性が低下する可能性があること等から、現状乗り入れは検討しておらず、いただいた御意見は、今後の関係路線の検討の参考とさせていただきたいと、日東交通より回答がありました。</p> <p>そのため、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。</p>
<p>(畑沢線：日東交通（株）)</p> <p>イオンモール木更津線と路線が重複しており、君津中央病院への通院に特化させ、経費削減の為、休日の運行を取り止めて、平日も本数の見直しをして、可能であれば、国道127号から木更津羽鳥野経由に変更し、利便性の向上をすべきである。</p>	<p>ご提案の羽鳥野へのルート変更については、所要時間、運賃の増加により、既存利用者の利便性が低下する可能性があると考えます。</p> <p>なお、君津中央病院への通院の特化、経費削減に繋がるダイヤに関するご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>そのため、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画については、原案のとおりとさせていただきます。</p>
<p>(三島線：日東交通（株）)</p> <p>木更津駅西口～イオンモール木更津へ延伸による利便性の向上をすべきである。君津バスターミナルで高速バス⇄路線バス利用者に割引運賃を適用し、少なくとも、コミュニティバスと運賃を同額にし、整合性図るべきである。</p>	<p>イオンモール木更津への延伸について日東交通に確認したところ、運行距離の増加に繋がるため、経費の増加以上の増収を見込むことが難しいこと、運賃については、コミュニティバスと重複している箇所が少なく、利用目的も異なると考えられることから増収は見込めないことから、対応は難しいと回答がありました。</p> <p>そのため、令和4年度地域間幹線系統確保維持計画については原案のとおりとさせていただきますのでご理解をお願いいたします。</p>